作曲 /ピアノ

**ジャン=フレデリック・ヌーブルジェ**

　1986年生まれ。8歳からピアノを始める。パリ音楽院でＪ＝Ｆ・エッセール、Ｊ・ケルネル、Ｉ・ゴラン、Ｃｈ・イヴァルディ、Ｍ＝Ｆ・ブッケに師事。17歳で卒業、ピアノ、伴奏、室内楽の各クラスで最高位を受賞している。2001年のモーリス・ラヴェル・アカデミーで注目を集め、2004年ロン=ティボー・コンクール第3位、2006年のヤング・コンサート・アーティスト国際オーディション優勝。同年12月、ニューヨークのカーネギーホール、ワシントンDCのケネディ・センターでリサイタルを開催、アメリカ・デビューを果たし、ワシントン・ポストやニューヨーク・タイムズをはじめ各紙で非常に高い賞賛を得た。　  
また、数々の一流音楽祭、ヴェルビエ、オーヴェル・シュル・オワーズ、モンペリエ・フランス放送、ラ・ロック・ダンテロン、メントン、オランジェリー・ドゥ・ソー、バガテル・ショパン・フェスティバル、ラ・フォル・ジュルネ（ナント、リスボン、東京）、ドュシニキ・ショパンなどで演奏を重ねるほか、ルーヴル美術館、オルセー美術館、ブッフ・デュ・ノール劇場、ダルムシュタットのショパン協会などでもリサイタルを開催、2007年11月には、東京のサントリーホールでリサイタル・デビューを飾った。  
　 これまでにロリン・マゼール、ジョナサン・ノット、クシシュトフ・ペンデレツキ、準・メルクル、大植英次らのもと、ニューヨーク・フィル、フランス国立放送フィル、ロンドン・フィル、上海フィル、モンペリエ国立管、フランス国立管などと共演、2007年11月にはリヨン管と日本ツアーを行った。2008年はリエージュ・フィル、ロンドン・フィル、バンベルク響、香港シンフォニエッタなどと共演、メシアン、ブラームス、ベートーヴェン、ブラームスと幅広いレパートリーを展開し、いずれも再演の依頼へと繋がっている。  
　 2009年は、大阪フィル、Ｎ響それぞれの定期公演ソリストとして迎えられ、再びサントリーホールでリサイタルを行う。  
　 16歳で録音したデビューＣＤ『ショパン：練習曲全集』は、過去の名盤にもひけをとらない。2006年3月には2枚組ＣＤをリリース、ショパン作品とリサイタルのライブ録音が収められている。その他『ツェルニー練習曲集：The Art of Finger Dexterity』、『ブラームス・ソナタ集』、2007年のサントリーホールでのリサイタルのライブ録音『Live at Suntory Hall』があり、今後『ベートーヴェン：ソナタ集』がリリースされる予定である。